



地元産品を

たべる

- 1 池田牧場
- 2 あいとうふくしモール「野菜花」
- 3 万葉の郷めぐり
- 4 工房しゅしゅ
- 5 能登川漁業協同組合

その取組に

さんか

する

- 1 三方よし研究会
- 2 エトコロ
- 3 蒲生あかね福祉の会
- 4 蒲生地区まちづくり協議会
- 5 永源寺森林組合

自然に

ふれる

- 1 愛のまち星つむぎプロジェクト
- 2 里山保全活動団体 遊林会
- 3 蒲生野考倶楽部

その取組を

商品

えらぶ

- 1 ちょこっとバス
- 2 東近江 Sun 讚プロジェクト
- 3 kikito
- 4 薪遊庭
- 5 菜の花エコプロジェクト
- 6 Mitte
- 7 TEAM CHAKKA
- 8 東近江三方よし基金
- 9 政所茶生産振興組合
- 10 あいとうリサイクルシステム
- 11 南部地区まちづくり協議会



ひがしおうみ
e~らいふ



自然と暮らしをつなげ、
市民が心豊かに暮らせるまちへ

あなたが想う“ふるさと”の景色はありますか
四季折々に色づく山や透き通った川
季節の移ろいを告げる動植物
人々の営みを見守ってきた神社仏閣
こころを揺さぶるお囃子と煌びやかな神輿が躍る祭り
住み慣れた町並み
一人一人のふるさとは違うけれど
ここにしかない、変わらないでほしい思い出の景色
だから大切にしたい ふるさとの景色

私にできることは一歩ふみ出してみること

きっと、昨日とは違う新しい自分に出会えるから

美しい自然、きれいな空気、おいしい食べ物。

私たちは、森里川湖からもたらされる自然の恵みに支えられて暮らしています。その恵みに感謝して、ライフスタイルを見つめ直すことで、自然や暮らしがより豊かになったと感じられるはずです。

東近江市には、環境に優しい上に、経済、社会にも良い取組がたくさんあります。あなたもそんな取組に関わってみませんか。

地元産品を たべる



森里川湖と食卓をつなごう

毎日の食事は自然の恵みそのものです。

森里川湖でとれた地元産の食材を食べることで、暮らしと自然につながります。

- ・地域ぐるみで地産地消 一歩進んだ集落営農の実践・・・6p
- ・伝統ある漁業が自然と共生し美しい琵琶湖を守る・・・7p
- ・自然の恵みに出会う場所・・・8p
- ・地域素材を活かしたローカルビジネス・・・9p
- ・安心して暮らせる地域づくり・・・10p

ここにしかないものをえらぼう

地元材を利用した製品や、東近江市にしかない取組を選ぶことで、まちにぎわいがあふれます。

- ・自然の力で電気と富をつくる（市民共同発電所）・・・12p
- ・幻の銘茶「政所茶」を未来につなぐ・・・13p
- ・生ごみを減らして地球にやさしく・・・14p
- ・森林とともに豊かに暮らせる未来をめざして・・・15p
- ・出会った人に導かれて、お店ができました・・・16p
- ・自然のぬくもりとナリワイづくり・・・17p
- ・“働きもん”の働くステージづくり・・・18p
- ・住民主体の資源回収・・・19p
- ・地域の活動をみんなで支える・・・20p
- ・地域内にある資源を地域内で利用する資源循環型のまちづくり・・・21p
- ・環境に優しい乗り物・・・22p

その取組を この製品を えらぶ



自然に ふれる



森里川湖にふれる喜びを感じよう

たまには外に出て里を歩く、森や川・湖で遊ぶなど、地域の自然にふれてみませんか。

新しい発見や出会いが心身を癒してくれるはずです。

- ・たんけん・はっけん・ほっとけん・・・24p
- ・人と自然、人と人をつなげる森づくり・・・25p
- ・景観や自然にふれ、人の交流から新しい発見を楽しむエコツアー・・・26p

自分のためになる活動に参加しよう

地域を見渡せば、「子育てサークル」、「お年寄りの集いの場」、「ゴミの減量化活動」など、様々な活動があります。これらの活動に参加してみましょう。きっと、素敵な出会いや時間が生まれてきます。

- ・地域の人たちが協力し合いながら子どもを育む“えーところ”・・・28p
- ・住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために・・・29p
- ・むらカフェ・まちカフェ
～地域で気楽に集まることのできる拠り所～・・・30p
- ・美しく住みよい環境まちづくり・・・31p
- ・地域ぐるみの森林整備・・・32p

取組に さんか



本冊子では、各団体の取組が東近江市の環境、経済、社会に良い影響を与えていることを、近江商人の理念に習い「環境三方よし」として評価しています。

- 【環境三方よし】
- 環境によし（CO₂削減や環境にやさしい活動など）
 - 経済によし（地域内で資源やお金が循環する活動など）
 - 社会によし（人や地域、自然や社会に関わる時間が増える活動など）

地元産品を
たべる

森里川湖と食卓をつなごう

東近江市産の野菜

地域ぐるみで地産地消

一步進んだ集落営農の実践

農事組合法人

万葉の郷ぬかづか



住所：滋賀県東近江市糠塚町 1253

営業日・営業時間：直売部：水・木（9:00～15:00）土・日（9:00～17:00）営業

加工部：水・木・土・日（8:00～17:00）営業

電話：0748-23-6898 E-mail: manyonosato@gmail.com HP: <http://manyonosato.jp/>

「万葉の郷ぬかづか」は、近畿最大の農地面積を誇る東近江市の西部にある農事組合法人です。平成12年6月から全国に先駆けて米粉パンの製造と販売、米や野菜の直売をはじめ、平成17年に法人化しました。

集落内の酪農家の堆肥を利用した土づくりをはじめとした「環境に優しい米作り」や濁水を流さず、農薬や化学肥料を半分に抑えた「環境こだわり米の栽培」などに取組、農業体験や直売などで顔の見える農業を実践しています。水稻の協業経営化により農作業に従事する時間が少なくなった高齢者が、野菜を減農薬で生産し、直売所で販売しています。直売部のみなさんの平均年齢は75歳以上、店番も交替でこなし、来店される若いお母さんたちに野菜の調理方法も伝授しています。



ポイント：環境三方よし

- 減農薬農業で**環境**によし
- 地元食材を加工販売して**経済**によし
- 自然と関わる体験農業をして**社会**によし



集落で生産した農産物を材料に、米粉パン、ジェラート、ラスク、パウンドケーキ、もち、せんべい等を加工・販売しています。

モニターの声

減農薬で栽培されているから安心して買い物しています。私は米粉パンが大好きで毎週食べてます。

能登川漁業協同組合

i 住所：滋賀県東近江市栗見出在家町七ノ割
時間：8:00～12:00 休日：水・土・日・祝日
電話：0748-45-0073

能登川漁業協同組合では、12月から始まる鮎漁をメインに、ホンモロコ、ニゴロブナなどの漁を行っています。

近年は、湖魚を食べる習慣が薄れてきたことから、魚離れを防ぐため、地元の小学校に出向いて小学生に鮎を実際に炊いてもらって食べる体験や漁港案内を行っています。子どもたちに琵琶湖への関心を持ってもらうことで、漁業の存続に繋がればと考えています。



春モロコの旬は3月～5月です。
お買求めの際はお問合せください。

魚を獲るだけでなく魚が住みやすい環境を維持するために、定期的に外来種の駆除やゴミの除去を行っています。



外来水生植物の駆除



外来魚の駆除



ゴミの除去

e- ポイント：環境三方よし

- 湖や河川を保全して**環境**によし
- 地元食材を加工販売して**経済**によし
- 自然とかかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

柔らかくて美味しいものこの煮つけが大好きです。僕は魚が好きなので大きくなったら漁師になりたいです。



平成になって、水質の悪化や外来魚により水産資源が著しく減少し、あわせて外来水生植物の繁茂、ゴミ問題など様々な課題も抱えており、これからの漁業は「捕る漁業」から「つくる（再生する）漁業」に方策の転換が求められています。

これからも伝統ある漁業が自然と共生、共栄できるよう、琵琶湖の豊かな自然環境を取り戻し、魚の住める美しい琵琶湖を次世代につなぐ活動を展開していきます。

有限会社 池田牧場

i 住所：滋賀県東近江市和南町 2191
電話：0748-27-1600 FAX:0748-27-1626
E-mail: info@ikeboku.com HP: http://www.ikeboku.com



昭和50年代に牛乳の生産調整があり、搾った牛乳を捨てる日が続きました。生産者として「なぜ捨てないといけないのか？」という疑問を強く抱くようになって、乳製品の加工や販売を始めました。

ジェラートショップ「香想（こうそう）」では、鈴鹿山麓のおいしい水と空気で育った牛たちの搾りたての牛乳を低温殺菌し、ジェラートを作っています。香料や保存料等は一切使用せず、素材本来の味を生かした「ほんまもの味」をお楽しみいただけます。



自然豊かな鈴鹿山麓で育った牛



絞りたての牛乳を使ったジェラート

～営業情報～

《ジェラートショップ 香想》
時間：10:00～18:00
(11月～3月は17:00まで)
休日：水（1月～2月は水・木）

《農家レストラン 田舎の親戚 香想庵》
時間：11:00～15:00
休日：水・木・金
※予約制 電話：0748-27-1111

《あいきょうの森キャンプ場》
時間：9:00～17:00
休日：年末年始（冬季不定休あり）
電話：0748-27-2009



香想庵は、2019.4閉店されました。



里山の四季の恵みをふんだんに使ったお料理

その隣には築170年の茅葺民家を移築した農家レストラン「田舎の親戚 香想庵（こうそうあん）」があり、四季折々の野菜とこの地域だから味わえる岩魚や鹿、猪のジビエ料理を昔懐かしい雰囲気の中で味わっていただけます。

鈴鹿山麓から琵琶湖までつながる美しい自然を守るため、里山の様子や、どのようにしてこの自然が保たれているのかを消費者に伝え、「食べる」ということの意味にある「自然の営み」や「自然の成り立ち」にまで思いを馳せてもらいたいと考えています。

e- ポイント：環境三方よし

- 地元食材の利用で**環境**によし
- 地元食材の使用で**経済**によし
- 人や自然とかかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

おいしい料理をいただきながら、自然のすばらしさと命をいただくということを感じられる場所でした。

工房しゅしゅ



団体：社会福祉法人あゆみ福祉会
住所：滋賀県東近江市上羽田町 786-1
時間：10:00～19:00 休日：月・木（祝日の場合は営業）
電話：0748-20-3993 HP：http://chou-chou11.com/

福祉作業所で働く利用者の 工賃アップのために

「工房しゅしゅ」を運営するのは、社会福祉法人あゆみ福祉会です。湖のくに生チーズケーキは、福祉作業所で働く利用者の工賃アップを目指す中で誕生した商品です。ご購入いただいた商品の売上は、利用者一人一人の自立のために活用されています。



湖のくにが、醸しだす

工房しゅしゅは、豊かな自然とそこで育まれた文化の中で、地産地消をコンセプトにしたお菓子づくりをしています。



e- ポイント：環境三方よし

- 地元食材の利用で**環境**によし
- 働く場の提供により**経済**によし
- 人や地域とかがわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

滋賀を丸ごと味わえるお土産として重宝しています。

あいとうふくしモール運営委員会



住所：滋賀県東近江市小倉町 1830 ほんなら屋（運営委員会事務局）
時間：8:30～17:00（ほんなら屋） 休日：月・日
11:00～17:00（ファームキッチン野菜花） 休日：火
10:00～17:00（田園カフェこむぎ） 休日：土・日・祝日
（結の家） 休日：日
電話：0749-46-2170（ほんなら屋） 0749-46-1455（ファームキッチン野菜花）
E-mail：info@fukushi-mall.com HP：http://fukushi-mall.com

モール内には「食」・「エネルギー」・「ケア」の自給をコンセプトに、それぞれの目的を持った3つの事業所（障害者の働きを支援する「NPO法人 あいとう和楽」、高齢者の暮らしを支援する「NPO法人 結の家」、食を通じて地域循環を目指す「株式会社あいとうふるさと工房」）があり、互いの事業活動を連携させ、さらに地域とのかかわりを持つことで、安心と生きがいのある暮らしを創造する地域拠点を目指しています。

モール内のレストラン「ファームキッチン野菜花」は、地元で採れた野菜を主にしたランチを地元の人が作り提供する地産地消のレストランとして市内外から多くの方が訪れ人気を博しています。



地元産野菜たっぷりの「野菜花ランチ」



あいとうふくしモール

e- ポイント：環境三方よし

- 自然エネルギーの利用で**環境**によし
- 食・エネルギー・ケアの自給により**経済**によし
- 人や地域とかがわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

旬の野菜を使った料理が食べられて、季節によってメニューが変わるので楽しみにしています。野菜がゴロゴロ入ったカレーがお勧めです。

その取組を
この商品を
えらぶ



ここにしかないものを
えらぼう



木地師

自然の力で電気と富をつくる（市民共同発電所）

東近江市 Sun 讚プロジェクト



団体：八日市商工会議所
住所：滋賀県東近江市八日市東浜町 1-5
時間：8:30～17:30 休日：土・日・祝日
電話：0748-22-0186
E-mail：info@odakocci.jp HP：http://www.odakocci.jp/sunsun.html



八日市商工会議所と東近江市商工会は、自然の恵みを生かして低炭素社会や地産地消による地域活性化の推進をめざし、平成21年5月に『東近江市 Sun 讚プロジェクト』をキックオフしました。

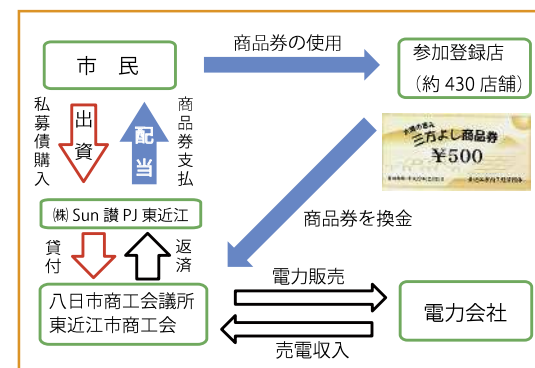
本プロジェクトは、地域資源である太陽エネルギーを活用し、地域で「富」を創造し、その富を地域内で循環させ、地域活性化をめざすものです。具体的には、賛同する方々から出資金を募り、市有施設の屋根に太陽光パネルを設置し、売電事業による収益を原資として、出資者に地域商品券である「三方よし商品券」で還元（返済）しています。この取組は、環境推進と地域循環の「見える化」を図り、地域を活性化します。

東近江市は公有財産の貸出対象を市民共同発電事業とし、また、市の住宅用太陽光発電システム設置奨励金等を本商品券で交付するなど、本プロジェクトの推進に協力をしています。

e-ポイント：環境三方よし

- 自然エネルギーの利用で**環境**によし
- 売電益を地域に還元して**経済**によし
- 人や地域とかがわる時間が減って**社会**によし

地元の環境と経済に対する思いを
目に見える形で後世へ！



東近江モデル（地域循環のフロー）



市民共同発電所3号機 滋賀県平和祈念館

モニターの声

環境にやさしい取組に貢献できて、三方よし商品券で地域経済活性化にも貢献できるので、出資して良かったです。

政所茶生産振興会



住所：滋賀県東近江市政所町 966
E-mail：mandocorocha.info@gmail.com

政所茶は、奥永源寺地域 7 集落で生産されているお茶です。この地域の特産品として室町時代から 600 年以上の歴史を持ち、献上茶として全国に名を馳せてきた銘茶ですが、戦後の生業の変化による過疎化等にもとない、生産量が最盛期の 30 分の 1 以下にまで減少しました。生産者の平均年齢は約 70 歳となり、「幻の銘茶」と呼ばれるような存続の危機に立たされています。



【政所茶の特徴】

寒暖のはっきりした場所で栽培され、収穫されているので香りが良く、苦みの中にほのかな甘みがあります。

【政所茶は下記にてお買求めいただけます】

道の駅 奥永源寺溪流の里（東近江市蓼畑町 510）

e- ポイント：環境三方よし

- 無農薬栽培で**環境**によし
- 地元の特産振興で**経済**によし
- 地域や自然とかわる時間がが増えて**社会**によし

モニターの声

関東在住で静岡茶を飲むことが多いのですが、政所茶はまた違う美味しさを感じます。すっきりとさわやかな味・甘くほのかな香り。茶樹にパワーがあるからか、煎がきくのも魅力です。



その一方で、政所茶は産地全体で無農薬栽培を行うほか、今や全国でも希少となった在来種を多く残し、肥料にススキや落ち葉といった自然由来のものを用いるなど、愛知川源流域ならではの自然環境を守り生かす生産方法を長年継続しており、食の安全が見直される昨今、改めて全国から注目を集めはじめています。

そのような中、先祖代々受け継いできた政所茶を絶やすことなく次の世代に繋いでいきたいという思いから、地元の生産者と地域おこし協力隊や大学生といった外部から茶生産に関わる者が一緒になり、平成 29 年 4 月に生産者組織「政所茶生産振興会」を発足させました。

現在は政所茶が抱える様々な課題解決に取り組みながら、将来にわたり維持発展することを目指し、産地の現状調査や耕作放棄地の開墾、都市部や地元道の駅等での P R 活動などを実践しています。

南部地区まちづくり協議会



住所：滋賀県東近江市沖野二丁目 1-34
時間：9:00 ~ 17:00
電話：0748 - 23 - 1573 E-mail：nanbu-k@city.higashiomi.shiga.jp

行政がごみの減量化を推進している中、生ごみの減量にダンボールコンポストが手軽で有効であることを知り、平成 20 年から普及活動に取り組みました。

現在では、南部地区を拠点に東近江市全域で普及活動を行い、生ごみの減量に貢献し実績を上げています。

ダンボールコンポストに入れた生ごみは、微生物の力で分解されて良質の肥料として利用することができ、美しい花や、大きくおいしい野菜を育てることができます。

今後もごみの減量のために、より一層ダンボールコンポストの普及を進め、循環型社会の形成に向けて活動を続けたいと思います。



e- ポイント：環境三方よし

- 生ごみの減量で**環境**によし
- ゴミの処理費削減で**経済**によし
- 地域や自然とかわる時間がが増えて**社会**によし

※ダンボールコンポストの出前講座を実施していますので、お気軽にお問合せください。



私たちもやってます！



堆肥を利用して花の植え付け



見事に育った野菜

モニターの声

生ごみが処分できる上、できた自前の堆肥で育てた野菜は驚くほどよく育ち、安心して大変おいしく食べています。微生物の力ですごくいいですね！

森林とともに豊かに暮らせる未来をめざして

一般社団法人 ^{キキト} kikito



住所：滋賀県東近江市一式町 564-5
時間：9:00～17:30
電話：080-3862-1438 FAX：0748-27-0550
E-mail：info@kikito.jp HP：https://www.kikito.jp/



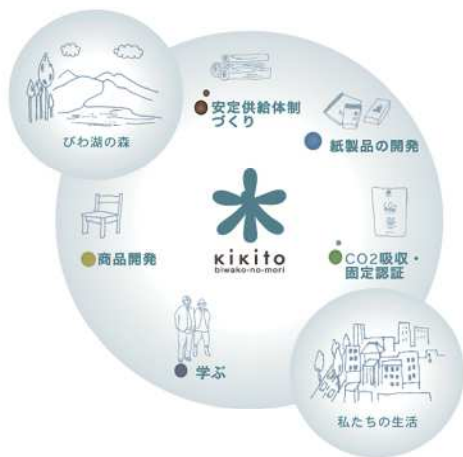
「びわ湖の森を元気にしよう」を合言葉に、森林・林業・工務店などの関係者に留まらず、NPOやデザイン会社など異業種で様々な立場の人たちが集まって作った協議会から、平成20年に法人化されました。

原木の調達から商品開発や販売まで、地域材を無駄なく有効利用するための仕組みづくりや、企業の森づくり活動のコーディネートに取り組んでいます。

また、生活の中に地元の森林資源を取り入れることができるよう、地域材を活用した名刺入れや鉛筆、さらには間伐材を配合したコピー用紙や印刷用紙も販売しています。

森に出かけることはなかなかできなくても、学校やオフィスの身近なところで使うものから、地域の森林とつながってみませんか。

平成27年度には、総務省『ふるさとづくり大賞』団体表彰や東近江市「まちづくり協働大賞」を受賞することが出来ました。これからも、森林とともに豊かに暮らせる未来をめざして、人の営みと森林が結びつくカタチを提案し、つなぐお手伝いを続けていきます。



e- ポイント：環境三方よし

- 間伐材の利用で**環境**によし
- 地元材の加工・販売で**経済**によし
- 自然や地域とのかかわる時間が増えて**社会**によし

お知らせ

- kikitoの商品は、Mitte(次ページ参照)にてお買い求めいただけます。
- 間伐材の買取も行っています。詳しくはお問合せ先まで。



間伐材の買取の様子

モニターの声

商品やロゴマークが可愛くて、愛用しています！

出会った人に導かれて、お店ができました

ミッテ Mitte



団体：NPO法人東おうみフィールドステーション
住所：滋賀県東近江市八日市緑町10-5 東近江市役所本館1階
時間：8:00～18:00 休日：土・日・祝日
電話：0748-24-5501 E-mail：info@fieldstation.jp HP：fieldstation.jp



地域のを、地域の人たちに 使ってもらうために

「地産地消」こそ、私たちの活動の原点です。そして、これからは東近江市のなかで暮らしが成り立ち、また、東近江市だけではなくいろいろな地域でそれぞれの経済が成り立っていくことが必要だと考えています。そのため、地域資源を活用した雇用づくりを目指しています。

これらを体現するために、店では東近江の間伐材を使って地元の木工職人が製作した商品棚を使用した店づくりを行い、地域で作られたものを中心に販売しています。



Mitteの店内

あ さまざまな人たちのさまざまな思いを和える

商品を作っている人も買い物に来る人も、ただふらっと立ち寄る人も、作り手と一緒に東近江市のものづくりを広められる機会を創りたいと考え、地域商品の新たなマーケットとしてのマルシェを開催しています。



つながって暮らしたい

地域資源の恩恵を受けているからこそ、人と人がつながり、森と水とまちがつながって、昔と今とこれからがつながっていく、そんな店にしたいです。

できることを考え、地域との関係を見直すきっかけづくりに取り組んでいきます。

e- ポイント：環境三方よし

- 地元商品を販売して**環境**によし
- 地元商品の販売で**経済**によし
- 人や地域とのかかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

東近江産の商品がたくさんあることにビックリです。

自然のぬくもりとナリワイづくり

まきゆうてい 薪遊庭



団体：株式会社イージェイ・ファクトリー
住所：滋賀県東近江市鯉江町1443
時間：8:30～17:00 休日：火
E-mail：makiyutei@gmail.com

電話/FAX：0749-31-3064
HP：http://makiyutei.com



平成15年自宅に薪ストーブを設置し薪割りの楽しさに目覚めました。ちょうどその頃「里守隊」を結成し森林整備を始めたことで、人と自然のつながりが薄れたことにより里山が荒れている現状も知りました。そこで「薪を燃料として使うことで森をもっと元気にしたい」と考え平成20年に「薪遊庭」を立ち上げ、地域の山から出た広葉樹（主にナラ、カシ）を林業業者から購入して薪の製造を始めました。現在、毎年100トンの広葉樹を薪に加工し県内全域の薪ストーブユーザーさんに販売しています。

平成23年からは東近江市薪プロジェクト事業がきっかけで、自立的に働くことが困難な地域の若者たち「働きもん」が薪割り作業を行っています。現在週2日、5、6名の働きもんが作業に携わっています。これまで社会に馴染めなかった彼らが、薪割りを通して社会にふれ、今や地域の困りごとを担えるようにまで成長しました。

薪ストーブで、地域産の薪が活用されることで森が元気になる、地域の人たちが元気になっていくことを目指してこれからも活動していきます。



働きもんによる燃料用の薪割り

モニターの声

薪ストーブは、家中の空気をやわらかく、長く温めることができるので冬中快適です。また炎を見ているだけで癒されます。



薪ストーブ



広葉樹の原木

e- ポイント：環境三方よし

- 里山が保全されて**環境**によし
- 地元材の加工・販売で**経済**によし
- 人や自然にかかわる時間が増えて**社会**によし

“働きもん”の働くステージづくり（地域資源でナリワイづくり）

チーム チャッカ TEAM CHAKKA



住所：滋賀県東近江市妹町70（あいとうエコプラザ菜の花館内）
時間：9:00～17:30 休日：火・祝日
電話：0749-46-8100 E-mail：info@ai-eco.com

Facebook：team-chakka.com



TEAM CHAKKA では、引きこもりや障害を持つ就業準備中の若者を“働きもん”と呼んでいます。“働きもん”が本格的に働くための準備を行う働くステージを提供しています。

現在は、地域の未利用資源をリサイクルして、バーベキューや薪ストーブ用の着火剤、ジェルせっけんなどを作っています。また、この取組により“働きもん”の人生が変わった物語を関係者や支援者に伝え、“働きもん”の応援団を増やしています。



TEAM CHAKKA の商品



着火剤「CATCH FIRE」

- ◎ くん炭や使用済みロウソクを使って作った着火剤です。
- ◎ 1枚1枚手作りです。



愛しゃぼんジェル（300ml） （廃食油リサイクルジェルせっけん）

- ◎ がんこな油污れがよく落ちます。
- ◎ 詰め替えもあります。

※TEAM CHAKKA では、廃ロウソクを集めています。使用しないロウソクがあれば提供をお願いします。

e- ポイント：環境三方よし

- 廃棄物のリサイクルで**環境**によし
- 地元廃材を加工・販売して**経済**によし
- 人や社会とかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

我が家は週末になるとバーベキューによく行くので「くん炭着火剤」も使ったことがあったのですが、みなさんでこうやって作っていたんですね。

あいとうリサイクルシステム



団体：東近江市愛東支所
住所：滋賀県東近江市妹町 29
時間：平日 8:30 ~ 17:15 休日：土・日・祝日
電話：0749 - 46 - 2261

愛東地区では、琵琶湖の水質保全を目的に、昭和56年から消費生活グループによって資源ごみの回収が始まりました。当時の回収は、消費生活グループ員や行政職員、町内若者有志「愛援隊（あいえんたい）」のメンバー総勢40名が、年に数回、23の集落へ資源類（缶、ビン、廃食油）を引き取りに行っていました。そして、広域の最終処分場が処理能力を超える事態に直面したのをきっかけに、昭和61年から、住民、自治会及び行政が協働し、住民自らが分別・収集・運搬を行う「あいとうリサイクルシステム」が確立しました。

取組を始めて30年以上が経過しますが、今も毎月1回決められた日に、自治会できれいに分別された資源ごみ（注1）があいとうエコプラザ菜の花館に運び込まれています。

※缶（スチール缶・アルミ缶）、ビン（白・茶・その他）、ペットボトル、紙パック、食品トレイ、廃食油、乾電池の7品目を10種類に分別して資源として回収しています。

e- ポイント：環境三方よし

- 住民主体の収集により**環境**によし
- 収集費用削減で**経済**によし
- 人や地域とかがわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

我が家では、飲んだ後のビンや缶は洗って分別するのがあたりまえになっています。



家庭から持ち込まれる資源類を、ルール通りに洗浄・分別できている ↓ か、自治会の当番がチェックします。



きれいに分別された資源ごみを自治会が菜の花館まで搬入します。 ↓



指定の場所に分類します。



一般財団法人 東近江三方よし基金



住所：東近江市 八日市本町9-19
時間：8:30 ~ 17:30 休日：土日祝
E-mail: 3poyoshi.kikin@gmail.com 電話：080-2541-9990
HP: http://3poyoshi.com



誰かの夢を応援したい、困っている人の役に立ちたい、そんな想いを生かす地域のお金を循環する仕組みづくりをしています。東近江市には、地域の里山保全、地域の世代を超えた交流の場づくり、若者が働きたいと思う仕事づくり、この地に住みたいと願う次世代を育てる活動など、積極的に取り組んでおられる活動団体がたくさんあります。東近江三方よし基金では、そんな社会的意義のある活動と皆さんの応援をつなぎます。

2017年度採択支援事業団体

【中間的就労支援事業】



特定非営利活動法人 Team KonQ

【コミュニティビジネススタートアップ支援事業】



(株)みんなの奥永源寺



㈱イージェイ・ファクトリー



地球ハートヴィレッジ



あいとうふくしモール運営委員会

モニターの声

●未来をあきらめない!! 豊かな暮らしを自分たちで創りましょう。
●寄附金でみんなが幸せになりますように。
●東近江市が環境・経済・社会“三方よし”に!

東近江三方よし基金が目指すカタチ



投資 助成 融資

「志のあるお金」ご寄附のテーマ

- ◎暮らしを支える
- ◎森里川湖のつながりを保全・活用
- ◎子ども・若者を支える
- ◎生業・起業・ものづくりを支える
- ◎地域の食と農を支える
- ◎再生可能エネルギーを支える
- ◎基金の運営を支える

ぜひ皆さんの想いを寄せてください。

e- ポイント：環境三方よし

- 環境団体支援で**環境**によし
- 活動資金の地域循環で**経済**によし
- 人や地域とかがわる時間が増えて**社会**によし

菜の花エコプロジェクト



団体：NPO法人愛のまちエコ倶楽部
住所：滋賀県東近江市妹町 70（あいとうエコプラザ菜の花館内）
時間：9:00～17:30 休日：火・祝日
電話：0749-46-8100
E-mail：ai-eco@ex.bw.dream.jp HP：http://ai-eco.com
facebook：https://ja-jp.facebook.com/npoaieco/



転作田に菜の花を植え、菜種を収穫し、搾油して菜種油にします。その菜種油は家庭料理や学校給食に使い、搾油時に油かすは肥料として農地に還元します。廃食油は回収して、せっけんやBDF（バイオディーゼル燃料）にリサイクルします。BDFを使用したとき排出される二酸化炭素は、菜の花が成長するときに吸収したもので、大気中の二酸化炭素量は増やしません。

地球温暖化防止に貢献しつつ、地域内で資源が循環する取組、それが「菜の花エコプロジェクト」です。昔の農村にあった原風景「菜の花」をよみかえらせることで、環境問題（CO₂排出削減）とエネルギー問題（石油枯渇）と現代社会が抱える問題を地域から解決する取組です。「自立」と「自律」の地域づくりを基本にした施策で「地域のことは地域で解決する」ことを理念に「食とエネルギーの地産地消」を目的に活動しています。

あいとうエコプラザ菜の花館では、様々な環境体験学習ができます。詳しくはホームページをご覧ください。



あいとうエコプラザ菜の花館



菜種油「菜ばかり」



e-ポイント：環境三方よし

- 地域で資源が循環して**環境**によし
- バイオマス資源を商品化して**経済**によし
- 自然とかかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

研修を受けて、自分にもできる環境にやさしい取組を始めてみようと思いました。

ちょこっとバス



団体：東近江市交通政策課
住所：滋賀県東近江市八日市緑町 10-5
時間：8:30～17:15 休日：土・日・祝日
電話：0748-24-5658（東近江市交通政策課）

東近江市では、廃食油を回収してBDF（バイオディーゼル燃料）にリサイクルしています。このBDFの利用促進と、環境に優しいバスの運行を目的に、平成17年8月から市内で運行しているコミュニティバス愛東線をかわきりに、現在6台のちょこっとバスにBDFを5%混合した燃料を使用しています。平成28年度は1年間でBDFを3,500リットル利用しました。

「ちょこっとバス」は、皆さんの身近な公共交通となる一方で、環境にも配慮したやさしい乗り物です。

また、ちょこっとバスの車内では廃食油の回収を行っており、廃食油をお持ちいただいた方には、次回、運賃100円分として利用できる「エコともチケット」をお配りしています。



e-ポイント：環境三方よし

- リサイクル燃料の使用で**環境**によし
- 燃料の地域内調達で**経済**によし
- 人とかかわる時間が増えて**社会**によし

※BDF（バイオディーゼル燃料）

植物由来の燃料であるBDFは、いずれは枯渇する化石燃料に対して、地球の自然の中で繰り返し再生可能なエネルギーです。また、酸性雨の原因物質である硫酸化物の排出を抑制し、またCO₂を吸って育った植物を原料としていることから、走行によって排出されるCO₂もゼロカウントになります。



エコともチケットのご利用について

- ☆ 次回乗車にご利用ください。
- ☆ 「ちょこっとバス」でのみ乗車賃100円分として利用できます。
- ☆ 有効期限はありません。
- ☆ 現金との交換はできません。



モニターの声

私は車に乗れないので、バスが無いとどこにも行けなくなるので助かっています。バスに乗るだけで環境にやさしい取組に貢献できるんですね。

森里川湖にふれる喜びを感じよう

自然に
ふれる



たんけん・はっけん・ほっとけん

NPO法人 蒲生野考現倶楽部



住所：滋賀県東近江市宮川町 688 - 123

活動地域：東近江市、琵琶湖、日野町、近江八幡市（日野川流域）

活動時期：年中（毎月）

電話：090 - 8757 - 2456 FAX：0748 - 55 - 2929

E-mail：gamouno.kougen.c@gmail.com

HP：http://kougenclub.shiga-saku.net

世代を超えて参加できる「蒲生野考現倶楽部」

「たんけん・はっけん・ほっとけん」を合言葉に、滋賀の山・野・湖の豊かな環境資源を見直し、持続可能な暮らしを考え、人が継承してきた環境文化を活かした地域再生を進め、体験を重視した環境学習を通して郷土を愛する青少年の育成を図ることを目的として、様々な活動を行っています。

倶楽部のメンバーは学生から80歳代まで幅広く会社員、農業、自営業、公務員、主婦まで様々です。自然環境に関心のある方ならどなたでも参加できます。是非私たちと一緒に活動に参加していただき、ご自身の経験や特技を生かしてみませんか。

～かいどり大作戦～

- ・魚つかみ・魚の天ぷら（昼食）
- ・水質調査・プランクトン観察など



～蛍ほのぼのコンサート～

- ・少年少女合唱団
- ・蛍鑑賞会



～日野川たんけん～

- ・日野川源流探検
- ・釣り体験など



e- ポイント：環境三方よし

- 環境学習による人材育成で**環境**によし
- 地域内の環境学習提供で**経済**によし
- 人や自然と関わる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

日野川の上流から下流まで辿ってみて、生きものや植物と触れられました。地域にこれほどまでの「自然」が残っている事に驚きました。

NPO法人
里山保全活動団体 遊林会



住所：滋賀県東近江市建部北町 531 (河辺いきものの森内)
時間：8:30 ~ 17:30 休日：月・祝日の翌日
河辺いきものの森保全活動日：毎月第2土曜日・第4水曜日
電話：0748 - 20 - 5211
E-mail：ikimono@e-omi.ne.jp HP：http://www.yurinkai.org/
facebook：https://www.facebook.com/satoyama.yurinkai/



平成10年、時代の流れにより忘れさられた里山を、様々な動植物があふれ、そして人々の笑顔がこぼれる場所にしよう私たちは活動を始めました。

地道な保全活動は実を結び、明るくなった森は生物多様性が維持され、絶滅危惧種も多くすんでいます。また、そんな森を使った遊林会の自然体験プログラムは、ワクワク・ドキドキにあふれ、高い評価を得ています。近年は、河辺の森だけでなく、蒲生の梵釈寺の保全や地域の子ども会に出張し、「笑顔」を広げています。

しかし、里山の保全活動は続けないと意味がありません。地域の自然は、自分たちで守っていききたいですね。皆様のご参加・ご支援をお待ちしております。



子どもが大好きな カナヘビ



美しい春の新緑



毎月の保全活動によって維持されている森

e- ポイント：環境三方よし

- 環境学習による人材育成で**環境によし**
- 地域内の環境学習提供で**経済によし**
- 人や自然とかわる時間が増えて**社会によし**

モニターの声

TVやゲームをして過ごす一日か、森で楽しく遊ぶ一日か、同じ一日でも、森で過ごした時間の方がすごく価値のあるものだと感じました。

愛のまち星つむぎプロジェクト



住所：滋賀県東近江市妹町 70 (あいとうエコプラザ菜の花館内)
時間：9:00 ~ 17:30 休日：火・祝日
電話：0749 - 46 - 8100
E-mail：nanohanakan@ai-eco.com



愛のまち星つむぎプロジェクトは、地域の魅力を発信することで地域が元気になることを目標にして、平成25年度に立ち上がったプロジェクトです。地域の魅力を星になぞらえ、その星をつむぐことで更なる地域の魅力向上を目指します。

本プロジェクトでは、都市と農村の人と人をつなぐ様々なつながり事業を行っています。



<よ〜きて茶屋(縁側カフェ)事業>

地域の方の縁側を開放し、お茶とお茶請けと楽しいお話で交流する「茶屋」事業。地域の方の出番づくりを目的としています。



<愛の田園歩き事業>

地域が元気になるために、歴史的産物や地域の特産品(果樹や野菜)などについて、生産者など生の声を聴きながら田園を歩くツアーです。



e- ポイント：環境三方よし

- 田園を歩くことで**環境によし**
- 都市部からの訪問者が増えて**経済によし**
- 人や自然と関わる時間が増えて**社会によし**

<東近江モデル視察研修事業>

東近江市の様々な取組を視察研修コースとしてつなぐ事業です。



視察研修ブックレット

東近江市の食・エネルギー・ケアをテーマに、研修コースを選定して案内しています。地域の食・農家民泊も組み込み、東近江市モデルを意識したブックレットです。

モニターの声

生産者と本当に交流でき、更に愛東果樹のファンになりました。お茶とお茶請けとそしてお話、田舎の雰囲気を楽しめました。



旭化成住工株式会社



住所：滋賀県東近江市湯屋町1番地（旭化成住工株式会社 本社・滋賀工場）
 時間：8:30～17:15 休日：土・日・祝日
 電話：0749-29-9007
 E-mail：matsumiya.hc@om.asahi-kasei.co.jp
 HP：https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/index.htm/



旭化成住工滋賀工場は、生物多様性保全を目的に、平成29年（2017）から、クレフィール湖東と共催して、水生昆虫やトンボの捕集を通じて、どんな種類の生きものが地域に住んでいるのかを知り、環境の大切さに関心を持っていただくことを目的に、地域の親子を対象として、環境指標ともなるトンボの観察会を開催しています。

また、湖東地域の生物多様性を保全することを目的として、地域の環境学習の場としても活用いただけるように、工場敷地内に地域の土や植物、水にとことんこだわった「湯屋のヘーベルビオトープ」を創出。湯屋のヘーベルビオトープには、ギンヤンマやショウジョウトンボのヤゴを始め、希少種であるミズカマキリやコガムシ、タイコウチなどの水生昆虫がたくさん暮らしています。



専門家によるトンボの説明



ハラビロトンボを捕まえたよ！



ビオトープで確認したショウジョウトンボのヤゴ

え- ポイント：環境三方よし

- 環境学習による人材育成で**環境**によし
- 地域内の環境学習提供で**経済**によし
- 人や自然とかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

久しぶりに親子でトンボつかみをしました。いくつかの種類のトンボをつかまえることが出来、子供たちも喜んでいました。

きぬがさ山 里山に親しむ会



団体：きぬがさ山 里山に親しむ会
 電話：0748-48-3122
 E-mail：taketogin@gmail.com

季節の移り変わりを告げ、笠を伏せたように横たわる鵜（きぬがさ）山は、古くから信仰の山として仰がれ、山域には多くの社寺や歴史的遺構も存在する美しい山です。

私たちが活動を始めた当初の鵜山は、遊歩道には倒木が散乱し、非常に荒れていました。しかし、展望の良い所からの眺めは非常に素晴らしく、北向岩屋十一面観音（きたむきいわやじゅういちめんかんのん）からはびわ湖を経て比良の山並み、湖東平野を経て鈴鹿の山々、鵜山山頂からは伊吹山を含め、三上山、比叡山、比良山系、鈴鹿の山並みが望め、滋賀県域の90%が望めます。

この素晴らしい山を整備して、地域住民の方々と登山者が安全に里山を散策でき、楽しく自然に親しむことができる森林づくりを目的として、平成14年に「きぬがさ山 里山に親しむ会」を立上げ、鵜山系の整備を始めました。

活動は、道しるべの改修、里山整備、子どもの里山活動のサポート等の定例の作業をしています。

現在会員20名程度で活動していますが、一緒に里山で活動（遊ぶ）する仲間を募集しています。詳しくは事務局までお問合せください。

当団体の主旨に賛同し、活動を支援してくださる賛助会員を募集しています。

年会費は1,000円です。財政面、活動の知恵、木工作の手伝いなどの応援もしていただければ幸いです。



定例の草刈作業

小枝を使ったクラフト教室



え- ポイント：環境三方よし

- 里山の保全で**環境**によし
- 都市部からの訪問者が増えて**経済**によし
- 人や自然とかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

鵜山からの景色は最高です。登山道をきれいに整備していただきありがとうございます。

伊庭町自治会



団体：伊庭町自治会
時間：月・水・金は 9:00～12:00・13:00～15:00、火・木・土は 9:00～12:00
休日：日・祝日
電話：0748-42-0362

集落内に川から引き入れた水が張り巡らされ、豊かな水量と清らかな水が伊庭内湖へと繋がり、私達の生活が水と共にあることを実感できる伊庭町では、平成19年から“子供たちから高齢者までが、活き活きと暮らせる豊かな自然環境を次世代に贈ろう”をキャッチフレーズに、伊庭町の環境保全に努め様々な取組をしています。



ホタルの観察会

毎年6月初旬に蛍の観察会を開催しています。ホタル観察の前には、講師を招きホタルの生態について学習したあと、伊庭町内でホタル観察に出かけます。出かける前に、自治会役員が町内全域でホタルが多く飛んでいるところを探し、子ども達を案内しています。

ホタルの住む美しい川が、伊庭町にあって、いつまでも大切にしたいと思う心が育ってほしいと願って、毎年開催しています。

田んぼの学校

子ども達に農業体験を通じて食べ物や生命を大切にし、自然環境への理解、農業に関心を持ってもらおうと、農家の方の御協力を得て、毎年小学校近くの田んぼに、鮎の稚魚を放流し、幼魚になるまで育てます。6月中旬に田んぼの水を落とす時に、幼魚になった鮎をあみですくい琵琶湖につながる伊庭川へ放流する活動をしています。

ポイント：環境三方よし

- 環境学習による人材育成で**環境**によし
- 地域内の環境学習提供で**経済**によし
- 人や自然とかかわる時間が増えて**社会**によし



真剣な目で講師の話を聞く子ども達



育った稚魚は伊庭川に放流します

【その他の取組】

- ☆有志による通学路へ花のプランター設置
- ☆いきいきサロン
- ☆水郷の除草、修理、鯉の飼育
- ☆小学生を対象とした生き物探検
- ☆お盆のイベントに使う灯籠作り

モニターの声

ホタル観察会では、子ども達は目の前を飛び交う蛍や、体にとまった蛍に大興奮でした。

地域の人たちが協力し合いながら子どもを育む“えーところ”

子民家 エトコロ



団体：NPO法人エトコロ

住所：滋賀県東近江市林町 2-1

時間・休日：不定（活動情報はHPをご覧ください）

電話・FAX：0748-56-1214

E-mail：etokoro@free.zaqq.jp

携帯：080-2427-1697（担当：中島）

HP：http://etokoro.shiga-saku.net

始まりは、平成22年。能登川駅前にある古民家が解体されると聞き、地元の有志が立ち上がりました。商店街の中にある古民家を地域のコミュニティスペースにできないかと何度も検討を重ねながら改修を開始。その後、NPO法人を設立し、地域の「良いところ（えーところ）」を目指す、「子民家エトコロ」が誕生しました。

「子ども」をキーワードに、親をはじめ子育てに関わるすべての人々や、それを支える地域の人々が生き生きと活動できる拠点づくりをめざして、手探りながらさまざまな活動を行っています。

「子どもがいるからできない」ではなく、「子どもがいるからおもしろい」と実感できるよう、結婚・妊娠・出産・子育て・就労までの切れ目ない支援も行っています。

「地元（地域）にはこんなところがあったんや」と再発見できる機会を設け、わが町の暮らしを楽しむ場をスタッフも楽しみながら創出。「やってみたい」を実現できる場を目指して、月に1回ぞろ目の日（9月9日、10月10日など）は、異世代・異業種交流の場「能夢会（のむかい）」を開催しています。

また、持ち込み企画も絶賛応援中です。共想・共創の場を目指していますので、お気軽にご参加ください。



子育て教室



おやこ教室



ママ主催の講座



就労支援講座



小学生お仕事体験塾

e-ポイント：環境三方よし

- エネルギーシェアで環境によし
- 地域内の育児サービス提供で経済によし
- 人や地域とかがわる時間が増えて社会によし

モニターの声

子どもにしてあげたくても家ではできないことが、エトコロでなら体験できます。子どもの新しい一面を発見する貴重な場です。

取組に
さんか
する

自分のためになる活動に参加しよう

伊庭内湖のヨシ刈り

NPO法人 三方よし研究会



住所：滋賀県東近江市中小路町 483
時間：10:00～18:00 休日：不定休
電話：090-3714-4614 E-mail: gtwhr164@yahoo.co.jp HP: sanpo-yoshi.blogspot.jp

少子高齢化、人口減少、見通せない将来の不安が進む中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためにはどうすればいいかを、医療、看護、介護の専門職だけでなく、行政や一般市民の方も参加して、ワイワイガヤガヤと議論しています。平成19年度から毎月1回開催していますが、東近江圏域（東近江市・近江八幡市・竜王町・日野町）だけではなく、県内、県外からも多くの参加者が集います。

研究会では「患者よし・機関よし・地域よし」を目指して、顔の見える関係づくりを行うとともに、地域の人々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、どのようなことが必要か、また、それぞれの立場でなにができるかを話し合っています。会場は各機関の持ち回りでいい、できるだけ多くの参加者が発言できるよう車座になり、初参加の人には自己紹介の時間を設けています。

研究会では、保健・医療・福祉などが連携して切れ目ないサービスを提供した具体的な事例報告や、圏域内の疾患別連携パス（患者さんを中心として、関わる各施設及び在宅の多職種が情報共有するツール。これによりチームで患者さんとその家族を支えていく仕組み）の検討などを行なっています。

その時々に応じたテーマで研究会を開催することにより、地域で多くの専門職が顔の見える関係をつくれ、実際の現場でも有用な連携ができています。



研究会を主宰する小串輝男先生



三方よし研究会の様子



e-ポイント：環境三方よし

- 安心して暮らせる仕組みづくりで**環境によし**
- 在宅ケアで医療費が削減して**経済によし**
- 人や地域とのかかわる時間が増えて**社会によし**

モニターの声

大勢の医療福祉の専門家が、熱く思いを語りあっていらっしやる姿を見て感動しました。病气や介護が必要となったときとても心強くと感じました。

蒲生あかね福祉の会



住所：滋賀県東近江市市子川原町 676（東近江市社会福祉協議会事務所せせらぎ内）
時間：8:30～17:00 休日：土・日・祝日
電話：0749-55-4895

人口減少、高齢化、多世帯化に対応するためには、①身近なところで交流できる場所の創設、②高齢者や障がい者、子育て中の人など支援を必要とする人を地域で支え合うしくみの創設、③意欲と能力のある元気な高齢者が活躍できる場の創設、④活動の持続性を確保するため、ボランティアではなくビジネスのしくみづくりなどが必要と考え、平成27年度から蒲生まちづくり協議会が実施した地域の拠り所事業を、平成28年度より「蒲生あかね福祉の会」が継承しました。

本会では、地域で気軽に集まることのできる拠り所づくりを行うとともに、ボランティアではなく小商いの手法で互助活動を行い、集落の共同体機能の維持・活性化を行うしくみを構築することを目的として活動しています。

これまでに、自治会における共同体機能の維持と強化を図ることを目的とした地域住民同士の交流活動を促進する場「むらカフェ・まちカフェ」を4自治会と3グループ（長峰）で実施しており、今後も新たな地域密着型の生活支援のしくみを検討しています。

また、自治会単位では活動が出来ないところや、送迎サービスなど自治会単位で対応できない事項について、蒲生地区としての生活支援のしくみを生活サポーターと検討しています。



e-ポイント：環境三方よし

- エネルギーシェアにより**環境によし**
- 集いの場の運営により**経済によし**
- 人や地域とのかかわる時間が増えて**社会によし**



「むらカフェ・まちカフェ」の風景

モニターの声

むらカフェは、近くて行きやすく、おしゃべりと大笑いできて楽しいです。

蒲生地区まちづくり協議会



住所：滋賀県東近江市市子川原町 461-1
時間：8:30～12:30 休日：土・日・祝日
電話：0748-55-3030 E-mail: gamomachikyo@e-omi.ne.jp
HP: <http://higashio-me.com/member/gamomachikyo/>



ふるさと蒲生野川づくり委員会

自然を知り、生物を愛し、
人の心を育む、博物館のような川づくり

近年は、川への愛着が薄れ、ゴミの投棄などによる環境悪化が深刻化してきたことから、川の環境を守り、水の大切さを認識するために、平成21年度から河川の美化活動を始めました。

第3土曜日をふるさと美化「蒲生野の日」と定め、毎年6月から9月の間に日野川や佐久良川の清掃作業を実施。延べ500名程が参加しています。



エコランド部会

ゴミ減量だけでなく、生ゴミから
作った堆肥で健康な野菜づくり

蒲生地区は、昔から環境活動が活発な地区です。ゴミ処理施設を見学した際に、ゴミ減量の最大のテーマは生ゴミの処理であることを実感したことから、生ゴミの減量化ができれば家庭ゴミ全ての減量がうまくいくと考え、集落一丸となって取り組んでいる蒲生岡本地区を参考に、平成18年から生ゴミの堆肥化活動を開始しました。

ゴミの減量化だけでなく、生ゴミ堆肥化で作った堆肥で健康な野菜を作ることを目的に、設置型コンポスト及び段ボールコンポストの出前講座を行っています。

※段ボールコンポストの出前講座を行っていますので、事務局までお問合せください。

え-ポイント：環境三方よし

- 環境保全、ゴミの減量で**環境によし**
- ゴミの処理費削減で**経済によし**
- 地域や自然にかかわる時間が増えて**社会によし**



設置型コンポストを使った生ゴミ堆肥化講習

モニターの声

生ゴミ堆肥化を始めてから、可燃ゴミから生ゴミが無くなったので、においがなくなりました。夏場でも家に置いておいても気になりません。家庭菜園も楽しくなりました。

東近江市永源寺森林組合



住所：滋賀県東近江市山上町 3544
時間：8:00～17:30 休日：土・日・祝日
電話：0749-27-0034 E-mail: eigenji-kikori@e-omi.ne.jp
HP: <http://eigenji-kikori.wixsite.com/eigenji-forest>

Facebook: eigenji-kikori



永源寺森林組合では東近江市の組合員の山林で、搬出間伐（手入れ・活用）を行っています。適切な時期に間伐を行うことで残された木が成長し、さらに価値ある材木に育ちます。そして、枝葉や根が勢よく張った健康な木を育てることは健全な森林環境の維持につながります。

当組合は、搬出した木材を建築用材、ベニヤの原料、チップの原料などとして販売し、山主へ少しでも多くの返金ができるよう努めています。

その他に、町中での伐採や草刈りへの対応、製材品の販売も行っています。山や木に関することについては、お気軽にご相談ください。

森は、水源を豊かにし、土砂災害を抑え、様々な資源を供給してくれます。これらの資源は、適切に管理することにより半永久的に繰り返し生産できる“循環型資源”として私たちの生活を支えています。

組合では、これらの森を守り育てる仕事をするとともに、作業用重機の燃料にBDF（バイオディーゼル燃料）を使用するなど、環境に優しい林業にも取り組んでいます。



え-ポイント：環境三方よし

- 森林が適切に保全されて**環境によし**
- 地元材の加工・販売で**経済によし**
- 自然や地域とかがわる時間が増えて**社会によし**

モニターの声

生物多様性や琵琶湖を守る上でも森林のもつ役割は大きいです。これからも広い視野をもって森林保全に務めてください。

東近江市さわやか環境づくり協議会



団体：東近江市さわやか環境づくり協議会（事務局：東近江市生活環境課）
住所：滋賀県東近江市八日市緑町 10-5
時間：8:30～17:15 休日：土・日・祝日
電話：0749-24-5633（東近江市生活環境課）
E-mail：kankyo@city.higashiomi.lg.jp

東近江市さわやか環境づくり協議会では、市民一人ひとりの環境に配慮したエコライフを促進するために、東近江市内の子ども達への環境啓発や地球温暖化防止活動を行い、「さわやかで美しい東近江市」のまちづくりの推進を目指して活動しています。

環境啓発活動として、東近江市内の保育園、幼稚園及び認定こども園を訪れてごみのリサイクルについて学習する「環境キャラバン隊」と、市内の小学校を訪れてリサイクルや東近江市の生き物について学習する「小2エコクラブ」を実施しています。

地球温暖化対策として、夏に窓際でゴーヤなどのつる性の植物を育て、日陰を作りつつ地球温暖化対策を目的とした「緑のカーテンプロジェクト」を実施しています。毎年5月に、どのようにして植物を育てる講習会を行い、ゴーヤ苗を配付するなど様々な環境に関する活動を行っています。

東近江市さわやか環境づくり協議会では、会員とともに活動して下さるサポーターを募集しています。環境啓発活動に興味のある方は、生活環境課までお問合せください。

e- ポイント：環境三方よし

- 環境学習による人材育成で**環境**によし
- 地域内の環境学習提供で**経済**によし
- 人とのかかわる時間が増えて**社会**によし



環境キャラバン隊



小2エコクラブ



緑のカーテンプロジェクト

モニターの声

エコのことを教えてもらってありがとうございました。
わたしもエコをしようと思いました。

童夢の館どむどむ



団体：童夢の館どむどむ
住所：滋賀県東近江市下里町3番地
時間：火～金曜日 10:00～15:00 水曜日は16:00まで 土曜日 12:00～17:00
休日：日・月・祝日
電話：050-5801-1406
E-mail：dom.dom@e-omi.ne.jp
HP：http://pine.ciao.jp/dom



「童夢の館どむどむ」は湖東地区で“only one”な居場所づくりを目指し、平成24年4月から地域子育て支援拠点としてスタートしました。

時代のニーズに合った多種多様な支援が求められる中で、0歳児から小中高生、保護者、おじいさん、おばあさんまでの交流と憩いの場、つどいの場として、地域の人々の出会いがより良いものとなる様に支援する活動を行っています。

どむどむでは、小中学生リーダーや、地域で子育て世代を支えていけるボランティアの育成も行っています。



どむどむ広場



よし笛サークル「鏡花水月」
敬老会、いきいきサロンなどに交流にでかけています。



「どむどむ交流隊」
夏休みに病院やデイサービスに交流に出かけています。



どむどむ広場に
サンタさんがやってきた♪

【活動情報】 ※詳細についてはHPをご覧ください。

- ☆0歳～3歳児親子の広場（毎週1～2回）
季節の遊び・製作、子育て講習、体験型遊び
- ☆小学生イベント（春休み・夏休み・冬休み）
子どもが心から楽しめるプログラム
- ☆小学生どむどむ隊（毎月第2土曜日）
学区学年を越えた仲間づくりとボランティア育成
- ☆よし笛サークル「鏡花水月」（毎月3回）
地域との交流をはかり、よし笛音楽文化の創造

e- ポイント：環境三方よし

- エネルギーシェアにより**環境**によし
- 集いの場の運営により**経済**によし
- 人とのかかわる時間が増えて**社会**によし

モニターの声

先生達がいつも笑顔で迎えてくれ、子ども達にもとても行きやすい場所です。親にとっても安心して息抜きが出来る憩いの場です。

コトナリエ実行委員会



開催期間：8月上旬～中旬（初日と最終日には花火の打ち上げがあります。）
点灯時間：18:30～21:30

E-mail: info@kotonarie.com H P: <https://www.kotonarie.com/>

※6月中旬より会場の飾りつけを行っています。協力していただいた方には、お礼にプレオープンの入場券を配布していますので、見て楽しむだけでなく一緒にコトナリエを作ってみませんか。



市町合併を目前に、当時の湖東町商工会青年部員たちが消えゆく「湖東」という言葉を何らかの形で後世に残そうと話し合った結果、平成16年に商工会青年部が主体で行っていた「湖東夏まつり」をリニューアルし、会場の「ひばり公園」に地域住民、学生、湖東地区まちづくり協議会、行政が協力して11万球（現在は30万球）の電球を飾り、真夏のイルミネーション「コトナリエ」を開催しました。

今では、東近江市を代表する夏のイベントに成長し、開催期間中は県内外からも多くの人々が訪れ、毎年10万人が来場するイベントになりました。

コトナリエは、環境にも配慮したイベントでもあります。使用される電力は、湖東地域の各家庭から回収した廃食油をBDF（バイオディーゼル燃料）に精製して発電しています。

e-ポイント：環境三方よし

- リサイクル燃料の使用で**環境**によし
- 都市部からの訪問者が増えて**経済**によし
- 人や地域とかわる時間が増えて**社会**によし



イルミネーションと花火のコラボは絶景！

コトナリエの理念と「3つのE」

コトナリエの理念は「光で地域をつなげ輝かせる」ことです。

毎年決められたテーマに即して各種イベントを行っておりますが、開催回数を重ねる中で築き上げられた3つの柱があります。

○ Ecology（自然環境保護運動） ○ Economy（経済） ○ Education（教育）

コトナリエ実行委員会ではこの3本柱の上にこそ、人々にとって恒久的な幸せをもたらす活力が生まれると考え、その実現を目指しています。

モニターの声

毎年、子どもと一緒にに行くのが恒例になっていて楽しみにしています。初日の花火もこの辺りで1番きれいだと思います。

もっと豊かさを感じられるまちにするために、 私ができること

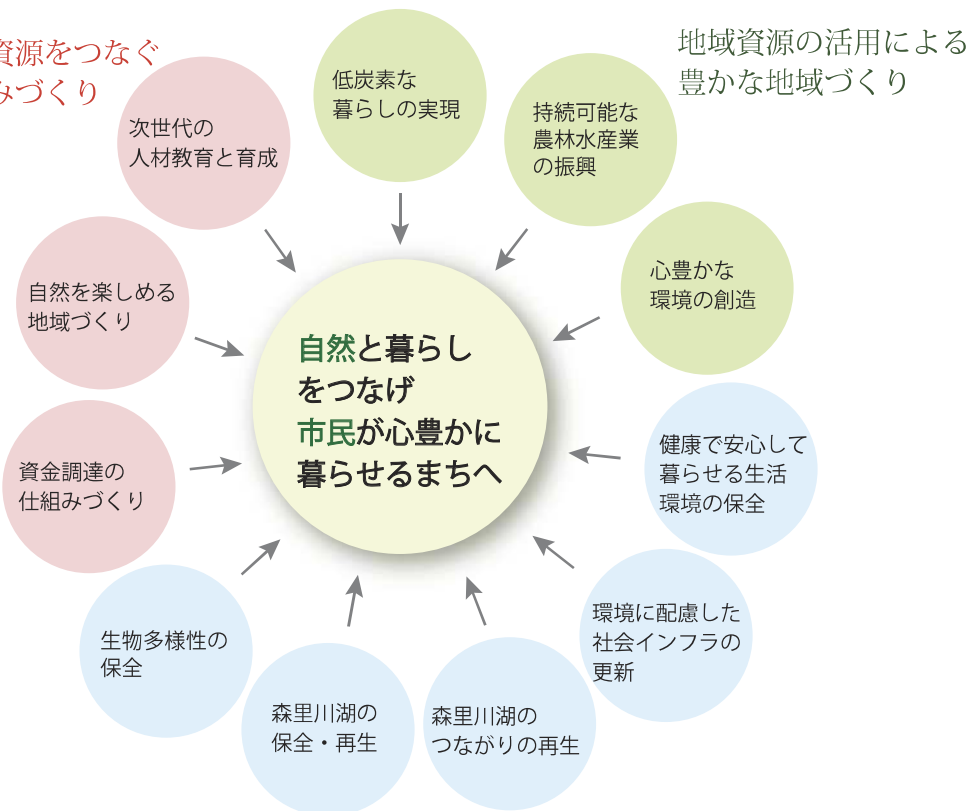
つい 100 年ほど前までは、私たちの暮らしに必要なすべてのものを森里川湖の自然から得ていました。そしてその限りある自然の恵みに感謝し大切にしながら、人と人のつながりの中で地域で助け合って暮らしてきました。

しかし、今、私たちは、食べ物やエネルギー等に困らない便利な暮らしを送っています。そして便利な暮らしと引き換えに、自然と暮らしの関わり、人と人のつながりが失われつつあります。

そこでもう一度、自然と暮らし、そして人と人とのつながりを取り戻し、心身ともに健康で豊かな暮らしを送るために、本冊子で紹介した“e(え)～取組”を、ほんのちょっとでも始めてみてませんか。

“e～取組”は、関わる人が心豊かになるだけでなく、実は、東近江市の環境、経済、社会にも良い影響をもたらしているのです。自分のために、地域のために、そんな一歩進んだ「豊かさ」を実感してみませんか。

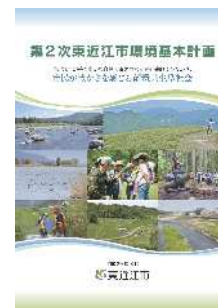
地域資源をつなぐ 仕組みづくり



地域資源の見直し保全・再生による
地域の価値を高める地域づくり



東近江市では、平成29年3月に第2次東近江市環境基本計画を策定し、その将来像である「東近江市が持つ豊かな自然と市民の営みが有機的につながり、市民が豊かさを感じる循環共生型社会」を目指しています。この冊子では、指標となる代表的な取組を紹介し、市民の皆様が様々な取組に関わっていただくことにより、東近江市の将来像が実現するよう作成したものです。



編集：東近江市環境円卓会議（事務局：東近江市市民環境部生活環境課）
I P：050 - 5801 - 5633 TEL：0748 - 24 - 5633
mail：kankyo@city.higashiomi.lg.jp
H P：http://www.city.higashiomi.shiga.jp/
発行：NPO法人まちづくりネット東近江



ひがしおうみ
e~らいふ

え
e～らいふには、environment（環境）、ecology（生態系）、
economy（経済）、east（東）近江市、life（生命・生活）の意味が込められています。

※ 本冊子に掲載されている取組は、
東近江市のホームページにも掲載
しています。

